備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成25年度	根拠法令・例規等	
総合計画 大項目 基本構想	03 協働「コミュニティ」	問合先 担当課（室）	市民協働課
総合計画 中項目 基本計画	04 地域での支え合いを基本とした協働を推進するまち	職・氏名	縁結び係　係長　杉山　麻里
総合計画 小項目 施策	12 コミュニティの育成と地域活動の支援	電話	64-1823
事務事業名	07 縁結び事業	このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的　（Plan）

対象（誰・何に対して）	人及び地域との結びつきを求める人（地域）、結婚を望む独身男女
目的（何のために）	人と人（結婚を望む独身男女　など）、人と地域、地域と地域の結びつきを促進するため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	縁結びの場設定事業、婚活パーティなどを開催することにより、ひいては若者の定住促進を図る。また人と人、人と地域、地域と地域の結びつきを促進するための研修会、講座等を開催し、人材育成を行う。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績　（Do）

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
縁結び事業	・結婚を望む独身男女を対象に、気軽に集まれる出会いイベントを毎月1回実施。 ・結婚を望む独身男女を対象に、カップリングを行うイベントを年に１回実施。 ・結婚を望む独身男女に、自分磨きの場としてセミナーを年に１回実施。 ・結婚を望む独身男女やその保護者を対象に、結婚相談会を年に１回実施。	◎

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

決算額

事業費等	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
直接事業費	千円	0	0	562
必要人員 人件費	千円	0.00人 0	0.00人 0	0.30人 2,392
事業費計	千円	0	0	2,954
財源 国県支出金	千円			
財源 受益者負担	千円			
財源 繰入金	千円			
財源 市債	千円			
財源 その他（　）	千円			
財源 一般財源	千円			2,954
受益者負担比率	%	－	－	－

結果指標

結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
新婚さんへのプレゼント	説明	婚姻届を提出されたカップルへプレゼントを渡した件数		
結果指標量	件			36
対前年比	%	－		
活動コスト	円			166,000
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	4,611

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
イベント参加延人数	目標値（A）			230	460
	実績値（B）			171	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	74.35%	230

成果指標設定の考え方・式や説明

イベント（出会い・カップリング）への参加延人数
※参加人数（出会いイベント：171人　カップリングパーティ：30人）
※開催回数（出会いイベント：４回　カップリングパーティ：１回）

事務事業の評価　（Check）

該当する項目を□から■へ　＜　■　←「コピー」して「貼り付け」してください　＞

妥当性の評価　市の関与の妥当性必要性　／　市民ニーズ

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価　コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- ■ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**D**

有効性の評価　目的達成度　市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：12月から開始した毎月の出会いのイベントは、周知徹底を図るため、開催日時、開催場所を変えず行いながらも、アンケート結果を基に内容に変化を加えながら実施した。地域制限や年齢制限を設けず行うことで、備前市の取り組みをＰＲした。また業者へ委託したカップリングパーティでは、専門家の企画する内容や進行の仕方を学び、毎月のイベントに取り入れていった。

総合評価

市の人口減少や少子化の実態から考えても、目的や意図する成果は妥当であり事業の必要性は感じる。有効性の面では、ＨＰや広報で周知はしているが、事業対象者が限定されているため、それ以外の周知方法を考える必要があると思われる。効率性の面では、イベント参加者の真剣度を把握するためにも受益者負担率をアップし、事業対象者にも理解してもらう必要があると考える。

総合評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

平成27年度の方向性・取組目標　（Action）

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

取組目標：引き続き周知し、より多くの人に出会いの機会を与えるためにもイベントを継続する必要はあるが、従業員へイベントへの参加を呼びかけたり、従業員のイベントに対する声を集め、市へ報告をしてもらうなど企業との連携体制を整え、回数よりも質を追求し、参加者の求める企画内容にしていきたい。